

## 公開競技実施に関する運用ガイドライン

令和7年11月7日改訂版

(公社) 日本パワーリフティング協会 組織委員会

国民スポーツ大会（以下、「国スポ」）の公開競技として実施されるパワーリフティング競技に関し、実施種目、出場階級、参加選手数、選手資格、選考会等の事項に関して、以下のとおりガイドラインを定める。

### 1 国スポ公開競技開催地

開催年	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	(H30)	(R1)	(R2)	(R3)	(R4)	(R5)	(R6)
回	73	74	75	76	77	-	78
国スポ開催地	福井県 大野市	茨城県 つくば市	鹿児島県 沖永良部 知名町 延期	三重県 朝日町 中止	栃木県 芳賀町	鹿児島県 沖永良部 知名町 特別国体	佐賀県 基山町
	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)
回	79	80	81	82	83	84	85
国スポ開催地	滋賀県 栗東市	青森県 藤崎市	宮崎県 延岡市	長野県 白馬村	群馬県 渋川市	島根県 出雲市	奈良県 大寺町

※ 国スポの開催地は、大会開催5年前に内定し、3年前に確定する。

### 2 公開競技の概要

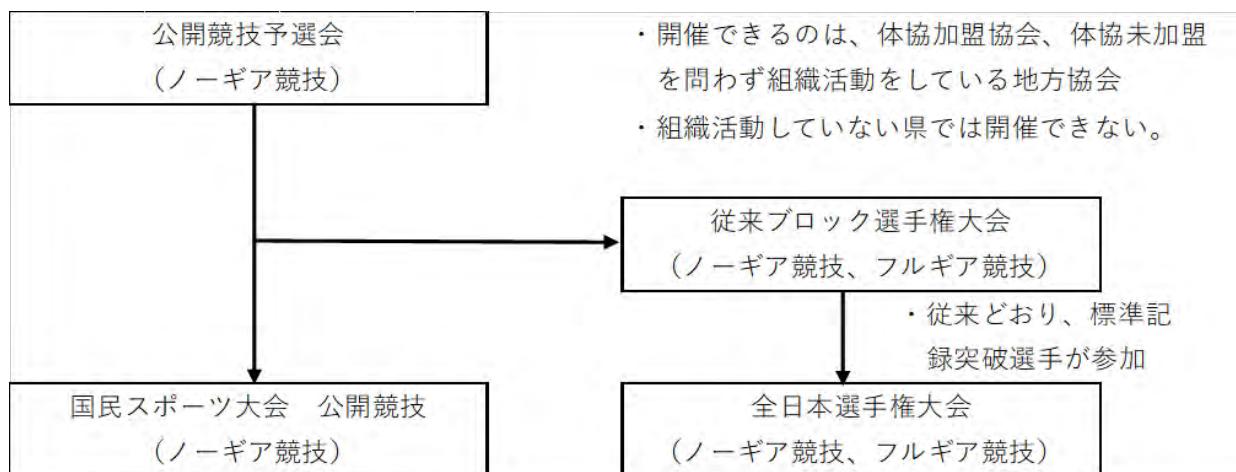
#### (1) 大会について

- ・ノーギアの3種目大会とし、一面又は2面での実施とする。
- ・大会期間は2～3日間とする。国スポ正式競技の開催状況（9月下旬～10月上旬）に鑑みて、9月中旬から下旬開催を目途に、夏の国スポ開催日程と重ならないように開催地と十分協議の上で検討する。
- ・国スポはスポーツ基本法に位置付けられた大会であり、公開競技においては、他の競技会の名称を併記することはできない。「世界選手権大会選考会」等の名称は使用できない。従って、ノーギア国際大会の選手選考会となる全日本パワーリフティング選手権大会クラシック部門とは別に開催する。

- ・出場区分は、成年男子・成年女子のみとし、参加選手の対象を18歳以上とする。
- ・競技形式は、都道府県対抗戦と個人戦を実施する。
- ・公開競技に参加する選手の予選会は、都道府県別に実施する。即ち、都道府県スポーツ協会未加盟でも組織活動をしている都道府県パワーリフティング協会（以下、「P F」）は、予選会を実施することができる。J P A公認プレート等の競技用機材が十分でないP Fにおいては、公認機材を有する同一ブロック内の他のP Fが開催する予選会の場を借りて、自らの予選会として同時に開催することができる。この場合、当該P Fは所属のブロック長と同時開催を希望する他のP Fに事前に了解を得ることを要する。
- ・公開競技の出場階級区分は以下の階級どおりとする。
  - ①男子：59、66、74、83、93、105、120、+120kg級
  - ②女子：47、52、57、63、69、76、84、+84kg級
- ・日本記録の認定は、J P Aのルール（技術委員会の通達を含む）どおりに取り扱うものとする。

## （2）参加選手の選考について

- ・都道府県スポーツ協会への加盟状況にかかわらず、活動実態のあるP Fに所属する選手は、公開競技への参加資格を有する。ただし、活動実態のあるP Fが存在しない都道府県に住所地を置く選手は参加できない。なお、参加資格を有する選手は、必ず所属P F会が実施する予選会に参加しなければならない。



- ・最終選考の責任者はP Fの理事長である。理事長は、公開競技に参加する選手の参加申込書と監督を含む選手名簿を、申込締切日までに開催主管協会へ送付するものとする。その際、P Fは該当選手の参加意思を必ず確認し、不参加の選手がいた場合は、速やかに協会内で後任の選手を選考する。
- ・ふるさと選手制度は採用しない。

### (3) 本大会参加資格について

- ・原則として、大会開催年の4月1日現在、18歳以上の男子・女子で日本国籍を有するJPA登録選手とする。ただし、日本国籍を有していない者であっても、過去1年以上適法な在留資格に基づいて日本に滞在している18歳以上の男子・女子で、JPAに登録している選手は参加できる。
- ・選手の所属都道府県については、住民票によって証明される住所地においてPF選考大会締切日時点で1年以上の居住をし、かつ、当該住所地のPFに選手登録していることを必要とする。なお、選手から希望があれば、勤務先の住所地を管轄するPFに登録することができる（勤務先の在籍証明書の提出を要する）。ただし、異なるPFの重複登録は認めない。
- ・公認コーチ資格を有する監督がいないPFの選手は公開競技選考の対象から外れるものとする。

### (4) 選手団の監督について

- ・選手団の監督は日本国籍を有する者であって、大会開催年の4月1日現在、住民票によって証明される住所地において1年以上の居住をし、かつ、当該住所地のPFに、役員、審判又は選手として所属していることを必要とする。
- ・選手団の監督は、（公財）日本スポーツ協会公認コーチ資格（スタートコーチ含む）を有する者であること。公認コーチ資格を有する監督がいないPFの選手は、公開競技選考の対象から外れるものとする。尚、この資格を有する選手は監督を兼任することができる。

### (5) 主管PFの大会運営について

- ・国スポでは、国スポ協賛社等以外の広告等の露出は原則として禁止する。但し、大会プログラムに協賛広告を掲載することができる。
- ・公開競技の表彰状は、正式競技と同一体裁の表彰状を開催都道府県に希望することができる。費用はJPAが負担する。大会参加記念章についても同様とする。
- ・大会結果・記録について、大会終了後、技術委員会への報告とは別に、速やかに国スポの開催県実行委員会本部に結果等の報告をしなければならない。
- ・選手、役員及び観客の傷害等に対して適確に対応するために、事前に傷害保険の加入契約に努めなければならない。
- ・主管PFはリハーサル大会を実施することができる。リハーサル大会は必ずしも全国大会とする必要はないが、本番に備えて、関係者の予行演習という位置づけで開催する。

### (6) 選手の参加枠について

- ・各PFからの選手参加人数を成年男子2名、成年女子1名とする。ただし、主管PFに対しては、全体定数とは別に成年男子4名、成年女子2名の参加選手特別枠を設ける。